

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信
令和7年 4月 25日 第3号
発行;校長 村上謙一

【学級発表 始業式 学級開き】



4月9日(水)新任式・始業式を行いました。式に先立つ学級発表は、毎年のことながらワクワクドキドキの時間です。



新しい出会いを大切にして、みんなで一西小をつかっていきましょうね。

【給食が始まりました】

4月16日(水)
1年生の給食が始まりました。牛乳パックの口を自分であけられる子どもたくさんいました。みんなおいしくいただきました。花丸です。



【退任式】



4月15日(火)7名の先生方が子どもたちにお別れの言葉を伝えに来てくれました。子どもたちは大好きだった先生方のお越しに大よろこびでした。

【1年生をけがから守ろう！】

ほとんどの子が帽子をかぶって登下校する姿が見られるようになりました。小さい子にお手本を示す姿がまぶしいです。「先生に言われるから」「校則だから」ではなく、自分の心で行動する子どもたちに育って来ています。自分より弱い者を守るとは、どのようにふるまうことなのかを学んでいます。人に大切にされた子供は、人を大切にする大人に育ちます。これは見えない学力のひとつです。

【SNS発信がもたらす影響を知ろう】

- 1、発信する内容は、他者の発信の単なる拡散であっても、それは「引用先」を明示しない限り、発信者の見解とされる。
- 2、いったん発信した内容は、みずから削除しても、それは決して消えないこと。発信した内容が将来に影響することがあること。就職、地位確認など、過去の妥当性が問われることは必至である。

ちょっとむずかしい言葉がならびました。教室で先生といっしょに考えてください。タブレットやスマートフォン、ゲーム機器で簡単に情報発信ができます。便利さのかけに危険がひそんでいます。危険が何なのかを知って、便利なツールをかしこく使う力をつけなくてはなりません。

【全国学力学習状況調査】

4月17日(木)、2・4年生は知能検査、6年生は全国学力学習状況調査に取り組みました。学力学習状況調査には現在求められている「学力」という力なのかがあらわれています。選択肢から正解を選ぶ力ではなく、自分の考えを説明する力の比重が大きくなっているようです。新聞やネットにも公開されていますので保護者の皆さんも小学生の気持ちになって解答に取り組まれることをお勧めします。

今年の調査対象教科となった国・算・理の全てでテストの最後に「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」について回答することになっています。わからなくても、むずかしくても解答をあきらめない力が学力の根幹とも理解できます。

算数では水場にあるハンドソープがあと何プッシュできるかを問う問題がありました。容器の重さを取り除いて考えなければなりません。国語は示された字数で資料を要約する力が問われました。理科は気温の変化による水と氷の体積変化から海面上昇の原因を問う問題が出ています。いずれも、よりよい説明をしようとする45分間をめいっぱい使いきってしまうような問題でした。途中であきらめず、粘り強く考え続ける力が問われているように私は感じました。

去年の一西小の学びのめあては「全員参加」。今年は「自走する学び」と「ICT機器の活用」です。粘り強く考え続ける力に直結した取組です。